

## 台風19号被災者支援のため

桑折ライオンズクラブより12月24日に「台風で被災された皆さんのために」と、寄附金52,230円が遠藤賢市市長から高橋町長に手渡されました。

この寄附金は、12月に桑折駅前で開催した「チャリティーコンサート」において、コンサートの参加者や駅利用者の皆さんから募りました。

高橋町長は「チャリティーコンサートの開催など、被災者への心配りをありがたく思う。皆さんからの寄附金は、目的に沿った使い方をしていきたい」とお礼を述べました。



▲（左から）菅野泰弘事業委員長、佐藤徳雄監事、遠藤会長、高橋町長



▲「全国大会で良い思い出をつくっててください」と高橋町長が激励しました

## 醸 芳中の古山さん、全国の舞台へ

醸芳中学校2年の古山有羽<sup>ありは</sup>さんが所属する福島県代表のフットサルチーム「FC BLOOM 福島」が、東北大会で見事優勝し、1月12日に三重県で開催された「第10回全日本U-15女子フットサル大会」へ出場しました。これに伴い、町は、主力選手である古山さんに12月24日、激励金を贈呈しました。

古山さんは「兄の影響でフットサルを始めて、8年目を迎えた。全国大会出場は2度目。気の合うチームメイトと、再び全国の舞台に進むことができるととてもうれしい」と話しました。

## 税 小学校租税教室 金の大切さを実感

税金の大切さについて理解を深めてもらおうと、租税教室が半田醸芳小学校（1月22日）と睦合小学校（1月24日）で開かれました。町税務住民課職員が講師を務め、6年生に税金の重要性を説明しました。

教室では、アニメ観賞やクイズがあり、税金の使い道について楽しく学べる内容。児童は小学生一人当たり年間約88万円の税金が使われていることや、机や黒板などの学校の備品も税金で賄われていることを学びました。児童は「税金は教育や道路など、身近なものに使われていることを知った。大人になってもきちんと納めたい」と話しました。



▲10キロある1億円のレプリカを持ち上げ、重さを体感（写真は半田醸芳小学校）



▲町消防団第2分団と伊達地方消防組合のはしご車による一斉放水

## 「第66回文化財防火デー」文化財防火訓練 伊達郡役所で放水訓練

町文化財防火訓練が1月26日、旧伊達郡役所で実施され、町や消防団、伊達地方消防組合、文化財関係団体、周辺住民など約150人が参加し、有事の際の対応について確認しました。

訓練は、二階バルコニーからの出火を想定。施設職員による避難誘導や放水訓練、住民による消火器を用いた消火訓練などを実施しました。

訓練では、高橋町長が「文化財は、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める上でも、後世へ守り伝えることは私たちの責務」とあいさつ。参加者は町民共有の財産を火災・災害から守る決意を新たにしました。